

PRODUCT CATALOGUE

Zonazyme

- 透明帯の除去 (Zona Removal) を目的とした試薬です。
- 一部の胚において分割期に発生するフラグメンテーション量を低減できます。
- 大気下で操作を行います。マニピレーターを用いた機械的な手法と比較して、より簡便に透明帯除去が可能です。



REF	コード	製品仕様	内容量
94200	ZNA - 05 × 5	Zonazyme	ZNA 0.5mL × 5 WS 0.5mL × 5
94201	ZNA - 5	Zonazyme	ZNA 5mL × 1 WS 5mL × 1

成分

Calcium chloride, Gentamicin, Glucose, Polyvinylpyrrolidone,
Potassium chloride, Potassium phosphate, Protease,
Recombinant Human Albumin, Sodium bicarbonate,
Sodium chloride, Sodium lactate, Sodium pyruvate, HEPES

品質管理

pH 7.2-7.6, 浸透圧 270-295mOsm/L,
エンドトキシン <0.25EU/mL, 無菌試験,
Mouse Embryo Assay ≥80%
冷蔵保存 2~8°C
有効期限 製造日より4ヶ月間

COMMENTARY 講評

楠原ウィメンズクリニック 培養室長 沖津 摂 先生

この製品も先人たちの英知の結晶の一つです。昨今のARTを取り巻く状況は保険適用以来、加速度的に効率化が求められています。ヒト、モノ、時間、効率的に使っていかないと時代に残されていきます。透明帯除去法は確かに一部の症例に有効性が確認されています。ワークタイムを節約してライフワークバランスを保つためにもこの機械的方法に代わる化学的透明帯除去法は非常に有効です！



KITAZATO WEBINAR 透明帯除去の二大手法とZona-free胚盤胞凍結：成功率を高める実践的アプローチ

ウェビナー視聴は下記URLもしくはQRコードよりお申し込みください。

<https://pr.kitazato.co.jp/webinar/20250829-od>

改良のため予告なく仕様を変更することがありますのでご了承ください。

株式会社北里コーポレーション

本社 : 〒416-0932 静岡県富士市柳島100番地10
東京オフィス : 〒105-0012 東京都港区芝大門一丁目1番8号

URL <https://www.kitazato.co.jp/> Mail info@kitazato.co.jp

お電話でのお問い合わせ

☎ 0120-457-454

FAXでのご注文先

📠 0120-111-471

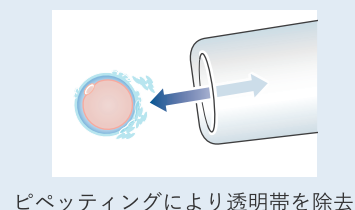
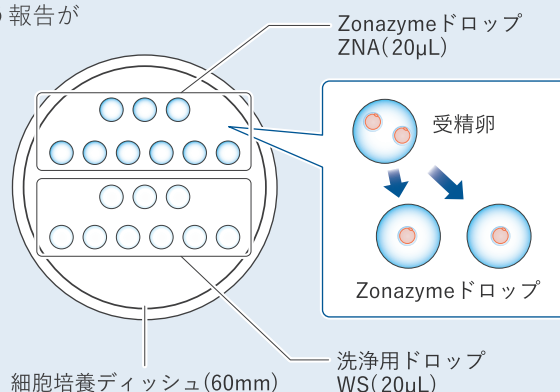
Zonazymeを用いた透明帯の除去（受精卵6個を処理する場合）

狭い囲卵腔や高度のフラグメンテーションを伴う受精卵、分割期で発生が停止した受精卵に対して透明帯除去を行うことで、胚盤胞形成率が上がるという報告がされております1、2）。

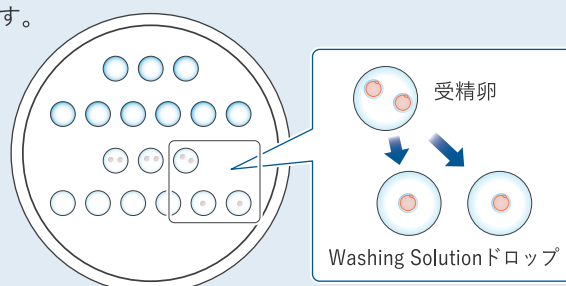
01 60mmディッシュにZonazymeと洗浄用ドロップ（各20μL）を処理する受精卵の数に応じて作成します。

02 受精卵をZonazymeのドロップに移し、反応を開始させます。培養液の持ち込みによる酵素の希釈を考慮して、すぐ後に別のZonazymeのドロップに移します。

03 反応が進み透明帯の膨張が見られたら、ピペッティングにより透明帯を除去します。Zonazyme溶液内への浸漬時間はできるだけ90秒以内になることを推奨します。



04 洗浄用のドロップに透明帯除去後の受精卵を移し、2回洗浄します。



05 洗浄後の受精卵を培養します。

※上記のプロトコールは一例です。

RELATED PRODUCTS 関連製品



Dish

REF	製品名	内容量
1502015	細胞培養ディッシュ (φ 60mm)	10枚/包×50袋 500枚/箱

REFERENCES 参考文献

- 1) Yumoto K, Shimura T, Mio Y. Removing the zona pellucida can decrease cytoplasmic fragmentations in human embryos: a pilot study using 3PN embryos and time-lapse cinematography. J Assist Reprod Genet 2020;37:1349–1354.
- 2) Vajta G, Rienzi L, Bavister BD. Zona-free embryo culture: is it a viable option to improve pregnancy rates? Reprod Biomed Online 2010;21:17–25.